

会告

日本設計工学会・東京都立産業技術研究センター共催
 日本設計工学会 2006 年度第2回講習会(学会 40 周年記念出版講習会)
 「中小企業向け 3次元CAD/CAE/CAM 導入・活用のための講習・相談会」

開催期日:平成19年 2月 22日(木)

共催:(社)日本設計工学会, (地独)東京都立産業技術研究センター 企画:事業部会
 協賛:協賛:TAMA 産業活性化協会/(社)首都圏産業活性化協会/(社)日本機械学会/(社)精密工学会/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる
 社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)/東京設計管理研究会/日本機械設計工業会/(社)日本コンピュータソフトウェア協会/大田区産業
 振興協会(交渉中)/品川区産業振興課(交渉中)

今日の我が国の製造業は、「コスト削減」、「納期の短縮」が強く求められています。高い品質を維持しながら、これらを実現して
 いくための施策として、3次元 CAD で作成された3D 形状データをモノづくりにも有効に活用していくコンカレントエンジニアリングの
 実践が注目されています。しかしながら、その中核をなす3D 形状データの作成段階、解析や加工に利用する段階において多くの
 労力を費やす場合が生じています。これらの効率化には、3次元 CAD をいかに有効に活用するかが重要な鍵となります。

このような状況を踏まえて、中小企業を対象に3次元CAD導入・活用のための講習・相談会を開催することになりました。特に今
 回は3次元 CAD/CAE/CAM に焦点を合わせた技術相談会を開催いたします。企業や研究所、学校関係者等で企画・設計・開発
 に関心がある方々の多数のご参加をお待ちしております。

尚、講習会ではテキストとして(地独)都立産技研センターの御支援により、日本設計工学会編「3次元 CAD の実践活用法」(コ
 ロナ社¥3,600)を1冊進呈いたします。

日 時:平成19年2月22日(木), 13時00分~17時45分 (懇親会:18:00~19:00)

会 場:(地独)東京都立産業技術研究センター(西が丘本部)

(〒115-8586 東京都北区西が丘 3-13-10 TEL:03-3909-2376, FAX:03-3909-2591)

*JR 赤羽駅西口から「王子駅行き」バスで西が丘1丁目下車 徒歩 3分, または JR 赤羽駅西口から「赤羽車庫行き」バスで国立西が丘
 競技場下車 徒歩 1分, または JR 十条駅から「赤羽駅西口行き」バスで西が丘競技場前下車 徒歩 1分, または都営三田線板橋本町
 駅若しくは本蓮沼駅下車 徒歩 12分, <http://www.iri-tokyo.jp/map/index.html>

司 会:大高敏男(東京都立産業技術高等専門学校)

時間	題目	内 容	講 師
13:00 ~13:10	開会挨拶	(地独)東京都立産業技術研究センター 理事長 井上 滉	
13:00 ~13:20	産技研コーディネータ事 業紹介	東京都立産業技術研究所センターのコーディネータ事業の概要等について 紹介します。	東京都産学公連携コーディネ ーター 佐藤康生
13:30 ~14:20	【基調講演】 3次元 CAD を用いたコン カレントエンジニアリング	現在、3次元 CAD モデルデータを中核としたコンカレントエンジニアリングが 大企業で促進されていますが、これらは情報システムである観点から今後中 小企業等周辺企業まで巻き込んだコラボレーションに進展することは明らか です。ここでは 3次元CADの生産部門やデザイン部門への有効な活用事 例、情報システムとしての導入・運用の留意点、さらには今後のシステム化へ の展開予測に関して概要を解説します。	日本設計工学会事業部長 東京都立産業技術高等専門学 校 朝比奈奎一
研究シーズ紹介 (研究者による連携可能な研究シーズの紹介 40分/1テーマ×4テーマ)			
14:30 ~15:10	CAE の活用と解析の実際	3D-CAD や CAE の GUI が格段に良くなり、中小企業での活用がクローズア ップされています。しかし、CAE は、FEM 解析を基本とした数学的な手法で あり、製品開発の道具として正しく活用するためには、工学知識が要求され ます。ここでは CAE の活用事例を中心に、その実際について解説します。	(地独)東京都立産業技術研究 センター 大久保富彦
15:10 ~15:50	ソリッドモデリングカー ネルを利用した 5 軸制御 加工用 CAM の開発	現在、5 軸制御工作機械が積極的に導入されつつありますが、そのために は適切な加工データを出力できる CAM が不可欠です。ここでは 5 軸制御加 工用 CAM の動向について述べた後、これまで研究を進めてきた最適な 5 軸 制御加工経路の概要と、その生成手法について解説します。	電気通信大学 知能機械工学 科 森重功一
15:50 ~16:30	3次元 CAD を強力な設計 支援ツールとするための カスタマイズ技法	広範な生産活動の中で上流過程に位置付けられる設計の支援ツールであ る3次元CADシステムを、可能な限り有効に活用するためには、ユーザ側 の工場環境や製品の特性に対処して、システムのカスタマイズ化が必要にな る。このカスタマイズ化の方法について解説する。	テクファ・ジャパン(株) 香取英男
16:30 ~17:00	3D-CAD と RP を活用した ものづくり	3D-CAD で設計した製品は画面上の図形でしかありません。開発のスピー ドアップには、できるだけ早い段階で形にして確認することが重要です。 3D-CAD から RP への展開を事例で紹介いたします。	(地独)東京都立産業技術研究 所センター 久慈 俊夫
17:10 ~18:10	技術相談会 上記テーマごとに分かれて、個別に相談会を行います。 (テーマごとに 4 社限定、申込時に予約してください)	東京都立産業技術研究センター見学会(相談会に参加しない希望者) デザインセンター(グラフィックデザインシステム、モデリングシステム、 CAD/CAE、高速造形機、樹脂流動解析)、振動試験機、無響室など 中小企業等が製品の開発・評価に必要な支援機器を見学します。	
18:20 ~19:30	懇親会 (有料 1,000 円)	第 4 会議室 中小企業の技術者、大学や研究機関の研究者とじっくりと懇親できます。	

定 員:40 名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費:無料 懇親会参加費:¥1,000(学生は無料)当日会場にて徴収いたします。

申込締切:平成 19 年 2 月 2 日(金)

申込方法:氏名、所属、連絡先、講習会名、懇親会出席有無を記入の上、FAX または E-Mail にて設計工学会事務局宛にお申し込みください。

問い合わせ先:〒140-0011 品川区東大井 1-10-40 東京都立産業技術高等専門学校 大高敏男

電話 03-3471-6331/FAX03-3471-6338 E-Mail:otaka@tokyo-tmct.ac.jp

詳細は学会または産技研センターのホームページをご覧ください。

<http://www.jsde.or.jp/>, <http://www.iri-tokyo.jp/index.html>

申込先:日本設計工学会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17 セラミックスビル内、電話 03-5348-6301, Fax03-5348-6280,

E-Mail: jimukyoku@jsde.or.jp, URL: <http://www.jsde.or.jp/>